



主な特徴

ARRI は、世界のプロフェッショナルユーザのフィードバックをもとに、既存の ALEXA ファミリーをXT (Extended Technology = 技術の向上) シリーズへと進化させました。これによりALEXA の特徴である、最高の総合画質、製作費の節減、効率的なワークフロー、信頼性、操作性がさらに向上します。

既存のALEXA シリーズはそれぞれALEXA XT、ALEXA XT M、ALEXA XT Plus、ALEXA XT Studio の4機種に一新されます。また、従来のALEXA はXTモデルへ有料でアップグレードすることが可能です。※¹

ALEXA XT の特徴

- ✓ カメラ内部でARRIRAW 120fps収録が可能
- ✓ カメラ内蔵型高品質NDフィルタモジュール
- ✓ 4:3 センサを搭載
- ✓ 新型ビューファインダマウント

ALEXA ファミリーを一新

- ALEXA XT、ALEXA XT M、ALEXA XT Plus、ALEXA XT Studio の4機種をリリース

ARRIRAW 収録がさらに手軽に。

高速フレームレートとワークフローの効率化を実現

- カメラ内のXRキャプチャドライブにARRIRAW を最大120fps で収録
- 堅牢で信頼性の高い512GB のXRキャプチャドライブ
- 効率的で高い実績を持つCodexのARRIRAW ワークフロー

ProRes/DNxHD コーデックにおける高速・長時間収録を実現

- ProRes および DNXHD の映像を最大120fps でXRキャプチャドライブへ収録
- XRキャプチャドライブに、ProRes4444 を24fps で107分収録
- SxS アダプタとSxS Pro カードでProRes/DNxHD を60fps で収録が可能
- 実績のある効率的で柔軟なProRes/DNxHD によるワークフローを利用可能

広い波長域に対応した高品質内蔵型 ND フィルタ

- 内蔵型NDフィルタモジュール(IFM-1)により機材軽量化とフレア抑制を実現
- 広い波長域の光を精確に減衰するNDフィルタにより色転びを防止
- フレアを抑えるマルチコーティングにより高いコントラストを再現
- 高精度な研磨技術による高いシャープネス
- ALEXA XT はIFM-1 フィルタホルダを標準装備
- 0.3から2.4まで8種類のNDフィルタをラインアップ

4:3 センサによるアナモフィックレンズ運用

- 全てのALEXA XT に4:3 センサを標準装備 ※²
- アナモフィックディスクイーズライセンスをプリインストール
- ノーマルレンズ撮影時にポストプロセスにおけるトリミング自由度を向上

ハイスピードライセンス プリインストール

レンズ・メタデータによるVFX作業の効率化

- 全てのALEXA XT にLDS 端子付きPLマウントを標準搭装備

ビューファインダマウンティングブラケット VMB-3

- 操作性と快適性を向上
- 頑丈で安定感のある設計
- 可動部をより強固にすることで摩擦を低減
- 15mm ライトウェイトロッドでビューファインダを保持
- 上部ロッドにレンズモータ、マウントボックス、フォローフォーカスを装着可能
- バブル式水準器を装備
- 強化されたビューファインダエクステンションブラケットVEB-3 も同時リリース
- VEB-3 はカメラ移動時などに便利な折りたたみ式の簡易レベラを装備

より静音性に優れたALEXA XTの空冷ファン

※¹ センサに関して16:9 センサから4:3 センサへのアップグレードは除きます。

※² 16:9モデルからアップグレードされたXTカメラは除きます。



ARRIRAW収録をさらに手軽に 高速フレームレートとワークフローの効率化を実現

ALEXA XT シリーズには、従来のSxSモジュールの代わりにCodex社と共同開発したXR(Extended Recording)モジュールが搭載されます。堅牢な512GBのXRキャプチャドライブには、最大120fpsのARRIRAW収録が可能です。

カメラを小型・軽量化するだけでなく、ケーブルを一切使わないことでセットアップやオペレーションをシンプル化し、ALEXAの最高品質フォーマットであるARRIRAWを、より手軽で安全に収録することができます。

収録後のXRキャプチャドライブは、実績あるCODEXワークフローに基づき、予算やタイムスケジュールに応じた様々な方法でバックアップを行うことができます。

小さくて扱いやすいシングルドックUSB3.0を用いるだけでMAC PCへの安全なデータコピーが可能です。デュアルドックを使えば、SAS(Serial Attaches SCSI)を経由した高速なデータコピーが行えるほか、他のXRキャプチャドライブへのコピーや、付属ソフトウェアのトランスコード機能を使ってオフライン向け/VFX向けの素材を生成することが可能です。Codex Vaultを用いれば、コピー、トランスコード、アーカイブ、メタデータ管理、デイリーレポート作成を最も高速に、かつ手軽に行えます。



ProRes / DNxHDコーデックにおける高速・長時間収録を実現

XRキャプチャドライブにはARRIRAWのほか、ProResやDNxHDコーデックでより高速かつ長時間の収録が可能です。

ProRes4444で120fpsが利用可能になるほか、例えばProRes4444で24fps選択時は107分まで収録できます。また、SxSアダプタを併用することにより、1枚のSxS ProカードにProResやDNxHDを収録できるため、既存のメディアを活かした運用も可能です。なお、XRモジュールはマルチカメラ運用時の個体識別用としてトップカバーの色を、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、ホワイトに変更することができます。

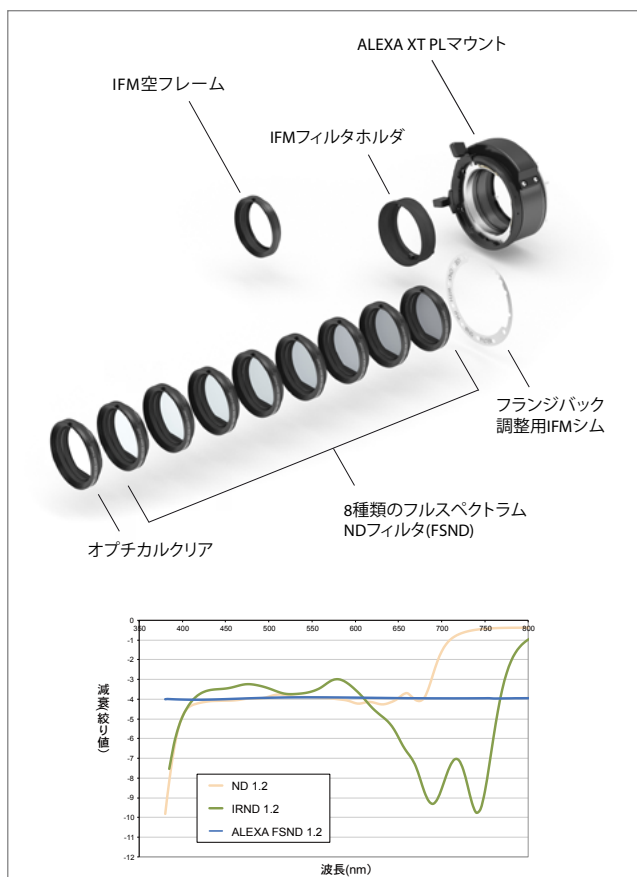
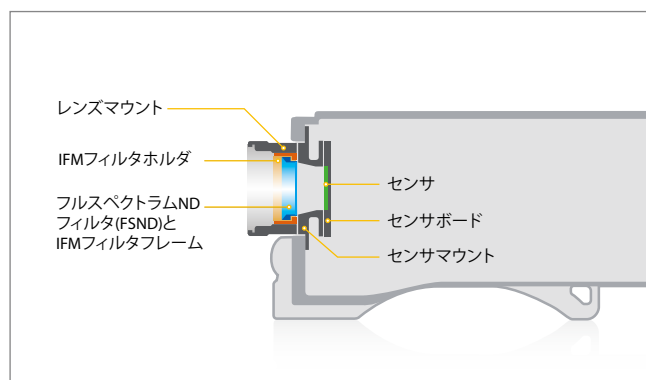


広い波長域に対応した高品質内臓型 NDフィルタ

カメラ内臓型フィルタモジュールIFM-1を利用することにより、明るい日中でも外部NDフィルタを用いることなくALEXAを標準感度EI800で適切に調整して使うことができます。レンズのマウント側でフィルタリングを行うことにより、現場における時間の節約、カメラの軽量化、フレアの低減、機動性の向上に貢献します。レンズとセンサカバーガラス間で発生する光の乱反射を抑制するほか、ダスト混入や損傷からセンサを保護する効果もあります。

IFM-1に用いられているFSND(フルスペクトルNDフィルタ)は、一般的なNDフィルタとは異なる技術により製造されています。広い波長域の光を正確に減衰する広域吸収性コーティングにより、ALEXAの全色域でニュートラルなカラーバランスを維持するため、従来のIRNDフィルタの欠点だった色転びを防ぐことができます。また、フレアを抑えるマルチコーティングにより、高いコントラストを再現できるほか、高精度な研磨技術により平面性を保たれたウォータホワイต์光学ガラスにより、クリアでシャープな映像を得られます。

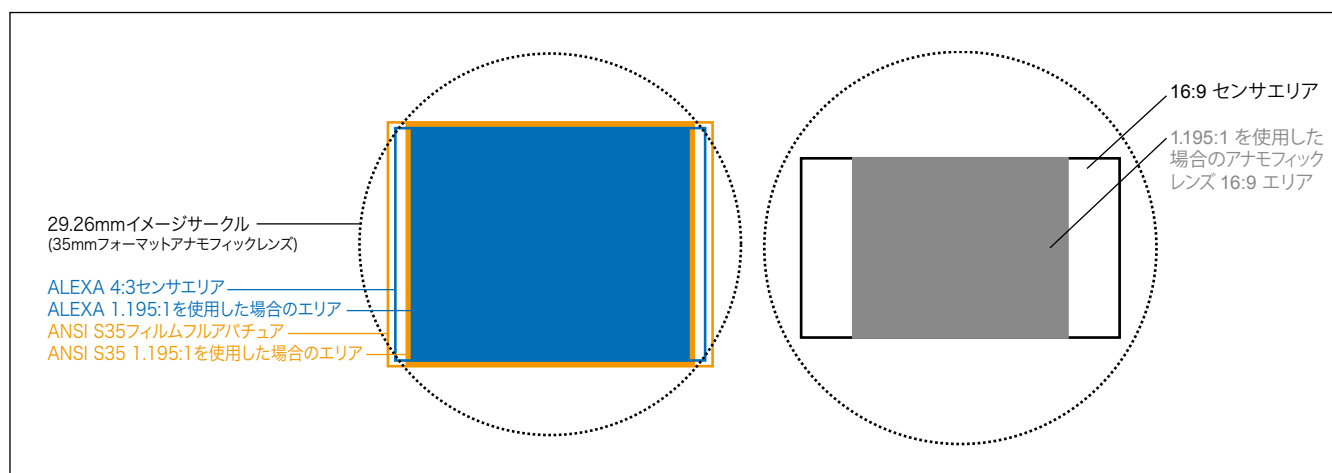
すべてのALEXA XTが IFM-1フィルタホルダを標準装備しており、0.3から2.4まで8種類のNDフィルタと、NDを使用しない場合に装着するオプティカルクリアフィルタがラインアップされています。



4:3 センサによるアナモフィックレンズ運用

ALEXA XT シリーズには35mmフィルムと同じ大きさの4:3センサが搭載されているため、フィルムカメラと同様にアナモフィックレンズを使用することができます。多くの映画監督やカメラマン、そして多くの観客に愛され続けている1950年代のシネマスコープのような真のワイドスクリーン映像を撮影することができます。

また、この時必要となるアナモフィックディスクイーズライセンスと、60fps以上のHSキャプチャを可能にするハイスピードライセンスがすべてのXTカメラにインストールされています。アナモフィック撮影を行わない場合でも、4:3センサは4パーフォーレーション35mmフィルムのように、ポストプロセスでのトリミング自由度向上をもたらします。

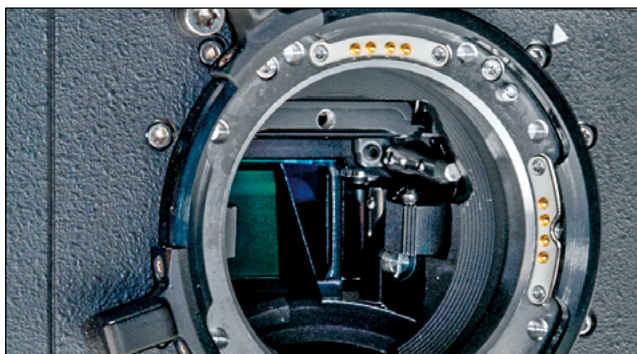


レンズ・メタデータによるVFX作業の効率化

ALEXA XT 全てに装備されているLDS(レンズデータシステム)レンズマウントから得られたレンズ・メタデータを利用すれば、ポストプロセスにおけるVFXワークフローを効率化することができます。LDS 端子を経由してカメラに読み込まれた フォーカス・ズーム・アイリスの情報は、ALEXA のすべての映像出力にメタデータとして反映されています。

LDS 対応のレンズは、マスターアナモフィックレンズ、マスタープライムレンズ、LDS ウルトプライムレンズ、マスターズーム16.5-110mm(ARRI 直営レンタルのみ)、アルーラ15.5-45mm および30-80mm など、41機種以上に及びます。

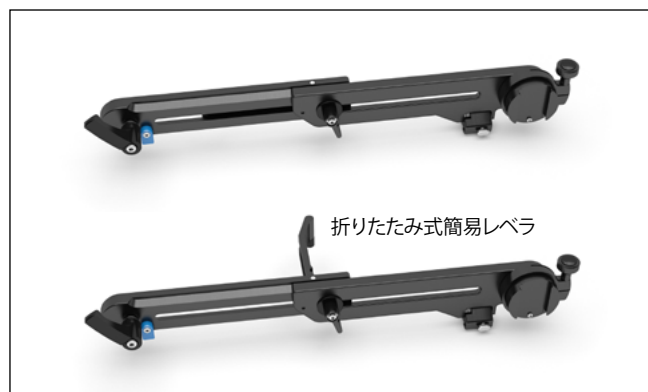
また、LDS 非対応レンズの場合でも、ALEXA のレンズデータアーカイブ機能(LDA)を用いてレンズデータテーブルをカメラに読み込み、LDS 機能を利用することができます。



ビューファインダマウンティングブラケット VMB-3

ビューファインダEVF-1 を保持するための新しいブラケットで、操作性と快適性を向上するため、2本のφ15mm ロッドを装備した剛性の高い設計となっています。VMB-3 のロッドはARRI のφ15mm ライトウェイトロッド規格に準拠しているため、フォローフォーカスやレンズモータを装着することも可能です。こうしたアクセサリ類を上部ロッドに装着することで、ベースプレート側のスペースを有効活用できるほか、三脚からクレーン、ステディカムなどへの変更が効率的に行えます。可動部には堅牢かつ摩擦の少ないアルマイト加工が施されているほか、水平レベル調整時に便利なバブル式水準器を装備しています。

また、同時に新しく開発されたビューファインダエクステンションブラケット VEB-3 (ロングビューイング時の延長ブラケット)は、堅牢性を向上させたほか、カメラ移動時などに便利な折りたたみ式の簡易レバ(ALEXA カメラ上面部に引っ掛けて使用する)を装備しています。



より静音性に優れるALEXA XT の空冷ファン

従来よりALEXA シリーズの静音性は、高い評価を得てきましたが、ALEXA XT シリーズから採用された 新しい空冷ファンは、周辺温度が高温の場合でも更に静かに駆動します。新型ファンは筐体上面にオレンジ色のマークが付いています。



※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります